

福島県民とのリスクコミュニケーション等		施策番号097
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	49	文部科学省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(7)	平成25年5月
目	⑤	
予算措置の状況		
【平成25年度】 ・独立行政法人放射線医学総合研究所運営費交付金及び施設整備費補助金 10,634百万円の内数 【一般会計及び復興特会】		
施策の内容		
○独立行政法人放射線医学総合研究所(以下、放医研)において、放射線の基礎・放射線防護等についての知識や技術を取得するための研修等を実施するとともに、放医研が蓄積してきた知見をもとに、福島県等において実施する講演会や対話セミナー等を通じて、住民にわかりやすく情報を提供し、放射線に対する不安解消に資する。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○福島県民や地方公共団体の職員の方々の放射線被ばくに関する疑問等に応えるため、放医研の放射線防護や被ばく医療の専門家を派遣し、これまでにのべ680件の講演等を全国で実施するとともに、保健師や医療関係者、教員等を対象とした、25件(受講者数903名)の研修を放医研にて実施した(平成25年5月1日現在)。また放射線に関する基本的な情報を分かりやすく伝えるためのハンドブック等を作成した。 ○引き続き、福島県や関係機関からの要請等を踏まえながら、住民に分かりやすく情報を提供し、放射線に対する不安軽減に貢献する。		

保健医療福祉関係職種への支援に関する研究		施策番号098
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	49	厚生労働省
章	第3	
節	2	作成年月
項	(7)	平成25年5月
目	⑤	
平成23・24・25年度の予算措置の状況		
【平成25年度】 平成25年度の研究結果を踏まえた研究事業を検討中 (研究者からの申請に応じて対応する予定。厚生労働省科学特別研究としては283百万円の予算がある)		
施策の内容		
○平成24年度:次のように研究事業を実施した。 ・自治体の保健医療福祉関係者に対し、「原子力災害時の健康安対応モデル研修」を開催し、対応に必要な知識・技能の習得のあり方について検証をした。その上で、保健医療福祉関係者が放射線に対する健康不安に対応するための知識・技能を習得する際に、国・都道府県・市町村・関係団体等が行うべき支援について報告した。 ○平成25年度 ・平成24年度の結果を踏まえ、周知などを検討中。 ・平成25年度の研究として、平成24年度の研究結果を踏まえた研究事業を検討中(研究者からの申請に応じて対応する予定)		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○平成24年度の研究については報告書の提出を受けた。 ○平成25年度の研究について検討している。内容については、平成24年度研究報告内容ならびに新たに出現した課題を踏まえ、次のように行う予定。 ・対面式研修に用いるツールキットを研究開発する。 ・統一的資料(環境省とりまとめ)に準拠したテキストを開発し、eラーニング教材等の応用教材を研究開発する。 ・保健医療職等が継続的にリスコミを実施できるように、パッケージ化された支援のあり方を確立する。 ○平成26年度の事業化についても検討中。		

国民の理解の増進		施策番号099
福島復興再生基本方針における該当箇所		府省庁名
頁	49	環境省
章	第3	
節	2	
項	(7)	作成年月
目	⑤	平成25年5月
予算措置の状況		
【平成25年度】 ・平成25年度原子力災害影響調査等事業 1,200百万円【エネルギー特会】		
施策の内容		
○昨年5月に健康不安対策に関するアクションプランを決定。 ○環境省では、放射線による健康影響等に関する知見の統一的な基礎資料の作成や近隣県を含めた保健師をはじめとする保健医療福祉関係者、学校関係者に対する放射線の健康影響等に関する研修を通じて、住民の方々の不安に対し身近な方がお答えできるような取組を確実に実施しているところ。		
施策の進捗状況及び今後の予定		
○上記アクションプランに基づき、関係省庁等において、健康不安対策に必要な施策を着実に実施していく。		